

本書の目的

本書では、2013年度と2014年度に校区における男女共同参画推進のために行われた活動事例について、主に校区における推進を担っている男女共同参画協議会（部会）の活動を中心にご紹介します。

校区で講座・講演会を企画する際の参考になるよう、企画方法や実施事例のほか、男女共同参画を広く知ってもらうための取り組みや、活動に参加してもらうきっかけづくりなどの事例を紹介しています。また、アミカス所蔵のDVD一覧、男女共同参画に関するキーワード集も掲載しています。

第1章 男女共同参画協議会（部会）とは

男女共同参画協議会（部会）の目的は、校区で男女共同参画を推進することです。地域・家庭・職場など様々な場で男女の固定的性別役割分担意識が解消され、一人ひとりがそれぞれの個性と能力に応じて活躍できるようになることを目指しています。各校区の実情に合わせ、多様な取り組みを実施しましょう。

1. 主な活動

事業・活動は、ねらいや目的を明確にして実施しましょう。

（具体的な事例は第2章以降に詳しく掲載しています）

◆男女共同参画を学んでもらう

講座・講演会を実施して、校区の人に男女共同参画の現状・課題・必要性などを知ってもらい、地域活動や家庭生活に男女共同参画の意識を持ってもらうことを目的に実施します。

男女共同参画の中にも多様なテーマがあります。企画する場合はねらいや対象者などを明確にするとともに、校区の実情に応じたテーマ・内容を決めることが大切です。

テーマの例

- ・男性にとっての男女共同参画（働き方、地域活動への参加など）
- ・男女共同参画の視点に立った防災
- ・地域づくりと男女共同参画 など

◆男女共同参画について広く知ってもらう

校区の夏祭りや文化祭など、人が多く集まる場でできるだけ多くの方に「男女共同参画」について知ってもらえるような取り組みをしましょう。難しいというイメージを持たれがちですが、身近な問題であると知ってもらうことが必要です。まずは言葉を知ってもらうだけでも、日常生活に潜む問題や世の中の動きに関心を持ってもらえます。

たとえば

校区夏祭りや文化祭を活用したPR、広報紙の発行 など

◆男女共同参画協議会（部会）の活動に参加してもらおうきっかけを作る

校区他団体と連携した事業（校区防災組織と共同で実施する防災訓練など）や、楽しく、参加しやすい研修（視察研修やコンサートなど）は、幅広い世代の方に活動に参加してもらおうきっかけになります。

ただし、「楽しい」だけで終わらず、男女共同参画の啓発となる内容で行うことが必要です。

[他団体と連携して事業を行うメリット]

- ・日頃男女共同参画の講座に参加する機会がない人の参加が期待できる。
- ・他団体の活動を通して、校区全体に男女共同参画の意識が広がる効果が期待できる。

[視察研修等の参加しやすい研修を行うメリット]

- ・多くの人に興味を持ってもらいやすく、幅広い世代の方の参加が期待できる。
- ※視察研修等への参加をきっかけとし、それ以降の活動につなげていくことが大切です。

◆委員のスキルアップ

校区における活動を活性化させるためには、まず委員自身が男女共同参画について理解することが重要です。委員が交代した際は研修を行い、男女共同参画の基礎・必要性を学ぶことから始めましょう。

また、次年度の計画を検討するときや年度末に活動を振り返り、活動目標や今後の方向性を共有することが大切です。校区の定例会などを利用して、学習会や意見交換を行いましょう。

2. 年間事業計画の企画方法

男女共同参画の推進に関する事業を行うにあたっては、まず「やってみたい」と思う事業をいくつかあげ、それを男女共同参画の視点から取捨選択して、校区の実情に応じた計画を立てましょう。

◆年間の流れを意識して計画を立てましょう

事業を行う場合は単独で完結させるのではなく、それぞれの事業・取り組みの特徴を踏まえ、それ以降の事業につなげることを意識すると良いでしょう。たとえば、視察研修で初めて男女共同参画に関する活動に参加した人に、それ以降の講演会への声かけをするなどが考えられます（年間事業計画のイメージは次ページをご覧ください）。

◆年間事業計画づくりのポイント

①校区イベントとの開催時期の重複に注意しましょう

一般的に秋頃には文化祭など、校区イベントが多い傾向にあります。多くの人に参加してもらえるよう、公民館や小学校などのイベントスケジュールを意識して日程を決めましょう。

②文化祭などの多くの人が集まるイベントをうまく活用しましょう

夏祭りや文化祭などには幅広い世代の方が参加します。そういった場で活動について知ってもらう機会を作ると良いでしょう。

③定期的に振り返りを行い、次年度以降に反映させましょう

事業を実施する際にはアンケートなどを行い、終了後に振り返りをしましょう。また、年に1回は活動全体を振り返り、次年度以降の改善点などを委員同士で共有することが大切です。

※年間テーマを設定すると事業計画を立てやすくなります。毎年、特に推進したいテーマに合わせて講演会等の企画を行うことで、長期的に様々な角度から啓発をすることができます。

テーマの例

「男性の地域活動参画」「女性のリーダーを増やそう」など

【年間事業計画のモデル（例）】（下記のほか、校区や区での定例会が入ります）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新任委員研修		講座（基礎編）		校区夏祭り		校区文化祭	視察研修★		次年度計画の検討	講演会（応用編）	1年間の振り返り

★みんなで参画ウィーク（福岡市独自の男女共同参画週間。毎年11月3日～9日）

（上記モデルでの年間の流れ）

- ① 4月～5月の委員が交代したタイミングで委員研修を実施する。
- ② 基礎的な講座や夏祭り・文化祭、視察研修をきっかけに広く知ってもらい、活動に参加してもらおう。
- ③ これまでの活動を通して男女共同参画に興味を持ってもらい、年度末や次年度の事業への参加を促す。
- ④ 年度末に振り返りを行い、次年度以降の方向性などを共有する。

※このモデルは一例です。校区の実情に合わせて必要な事業を検討し、年間事業計画を作成することが活動の活性化につながります。

それぞれの事業・取り組みについて、具体的な事例などは第2章以降をご覧ください。

- **講座の企画方法について具体的に知りたい！** ➡ 第2章（4ページ～）
企画から実施までに準備すること・段取りなどを紹介しています。
- **どんなテーマで講座をしたらいいの？** ➡ 第3章（12ページ～）
校区・アミカス等で実施された講座事例をテーマごとにまとめています。
- **広く知ってもらうためには何をやるの？** ➡ 第4章（37ページ～）
文化祭など多くの人が集まるイベントを活用した事例や日常的なPR活動の事例を紹介しています。
- **参加のきっかけづくりにはどんなことをやるの？** ➡ 第5章（39ページ～）
校区他団体と連携した取り組みや視察研修など参加しやすい研修の事例を紹介しています。
- **簡単にできる委員研修ってないかな？** ➡ 第6章（41ページ）
校区定例会などの機会を活用した委員研修事例を紹介しています。

男女共同参画活動コーディネーター派遣事業（アミカス）のご案内

2016年秋頃から、年間事業計画の立て方や活動方法等についてアドバイスをを行うコーディネーターの派遣を開始する予定です。活動について悩んでいる校区の方はぜひご活用ください。